



## 110日ぶり3密避け、公共施設を順次開館

6月19日 総合体育館や図書館など

新型コロナウイルス感染症の陽性患者が福岡県で確認され始めた2月下旬、コロナの脅威が迫ってきたことを受け、町民の命、健康を守ることを最優先に3月2日から公共施設閉館を決めた芦屋町。さまざまな対策を講じ、一部を除き総合体育館や公民館などが110日ぶりに開館しました。総合体育館や図書館、子育て支援センターたんぼぼ、老人憩いの家などを訪れた皆さんは様々に「首を長くして待っていた。緊張感はあるけどうれしい」など話していました。



## 感染予防対策に役立ててと掃除道具一式贈呈

6月16日 芦屋町商工会・町内の小中学校

芦屋町商工会工業部会は、5月に学童クラブへ玩具などを寄贈したの続き、町内小中学校4校へモップと使い捨て掃除シート（30万円相当）を寄贈しました。中学校では、さっそくトイレ掃除に使っていました。芦屋中学校の山下高志校長は「これまでは雑巾などの掃除道具を繰り返し使用しており、健康に影響が無いが不安だった。使い捨ての掃除道具なら、生徒たちが汚れに直接触れないので感染リスクを軽減できる」と話していました。



## まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷問い合わせ 広報情報係  
(☎223局3569)

## 大雨災害に備え、コロナ対策の避難所開設訓練

6月7日 総合体育館・中央公民館

梅雨入りを前に、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設を円滑に行うための訓練を、指定避難所の総合体育館と中央公民館で行いました。役場の防災担当者や災害応援班の職員など約20人が参加し、当日の様子は新聞やテレビでも報道されました。

訓練では避難所での受け付けの手順や避難者の健康状態などに応じた部屋分けと避難者を案内する通路の確認、また、避難所内で使用するテントと折り畳みベッドの設置を行いました。避難所での感染拡大を防ぐために、1人当たりのスペースをこれまでの2㎡から9㎡に広げる必要があり収容できる人数が減るため、今後は小中学校など多くの施設を避難所として使用する予定です。避難の際は、皆さんにマスク着用などの協力をお願いします。



## 抗菌コーティングで安心をプレゼント

6月1日 ひびき青年会議所

子どもたちの感染予防の一助になればと、抗ウイルス・抗菌機能を持つと言われるガラスコーティング剤を水道蛇口やドアノブなどに塗るため、ひびき青年会議所の皆さんが町内の小中学校4校をボランティアとして訪れました。コーティング剤を提供してくれたのは外装塗装会社「COLOR」（直方市）代表の山根敦さんです。山根さんは「除菌・抗菌の効果が数年間は期待できる。大変な時代の学校生活を子どもたちが安心して送れるよう協力したい」と話していました。

